

## RENKEI PAX SCHOOL 2016 : Enslaving the Mind

大学院生を対象とし、平和、人文科学、文化と科学（Peace, Arts, Culture and Science=PACS=Pax=Peace）に貢献する学問領域の一連のプログラムとして、現代の平和構築のための知的基盤を築くことを目的とする。2016年度は”Enslaving the Mind”(意識の奴隷化)をテーマに、平和というものがどのようなプロセスで民衆を巻き込み、戦争に陥っていくかを考察した。スケジュール詳細はこちら。

実施期間	9月14日～23日	
内容	公開講座	平野啓一郎氏「私とは何か『個人』から『分人』へ」 Mr. Raja Shehadeh”What does Israel fear from Palestine?”
	フィールドワーク	長崎原爆資料館、原爆体験者講和、長崎大学核兵器廃絶センター講義、長崎市長表敬訪問
	講義、WS、GW	各分野の専門家による講義
	プレゼンテーション	展示パネルとアナログゲーム作成(4グループ) (博物館資料を参考に：ガスマスク、墨塗り教科書、広島で被爆した生徒の弁当箱)
参加者	6大学 15カ国 22名	<日本> 大阪大学、京都大学、立命館アジア太平洋大学 立命館大学 <英国> リバプール大学、ニューカッスル大学
教員	代表	<立命館大学> モンテ・カセム(政策科学部特命教授・国際平和ミュージアム館長) Prof. Paul Dumouchel(先端総合学術研究科教授) <University of Liverpool> Prof. Anthony Hollander Dr. Alex Balch
	協力教員	西成彦(先端総合学術研究科教授) 小川さやか(先端総合学術研究科准教授) 渡辺修司(映像学部准教授) Dr. Thomas French(国際関係学部准教授) 山根和代(衣笠総合研究機構客員研究員) 松隈浩之(九州大学芸術工学研究院准教授)